

## 令和7年度第1回宇治市農業振興協議会 会議録

○開催日時：令和7年9月11日（木）午前10時～午前11時45分

○会場：宇治市役所 8階 大会議室

○出席者：13名（5名欠席）

○傍聴者：0名

○報道関係者：0名

### <次第>

1. 委員の委嘱
2. 会長、副会長選出
3. 農業振興施策の取組状況について

## 【会議内容】

### 1. 委員の委嘱

松村市長より各委員に委嘱状を交付

(任期：令和7年8月1日～令和12年7月31日)

### 2. 会長、副会長の選出

委員より会長に吉田利一氏、副会長に中林和夫氏の推薦があり、異議なしで決定

過半数の委員の出席により会議が成立

傍聴を認めることにより会議を公開

### 3. 農業振興施策の取組状況について

事務局（宇治市）より事業概要を説明

委員による協議、事務局との質疑応答

## 【質疑応答・意見など】

### 3. 農業振興施策の取組状況について

#### ○地域計画について

委員：宇治市として、地域計画を今後どのように進めていくのか、進めるうえでどのような課題があると考えているのか。

事務局：農業者人口が減っていくなかで、意欲のある担い手に農地を集積集約していくため、今年度から、農地集積協力金制度を作って農地の出し手側に協力金を出すことで農地の流動化を促し、宇治市の農業を持続可能なものにしていきたい。

委員：巨椋池の農地は市外の所有者が多い。地域計画の策定にあたっては市外の方にもアンケートを取られたのはありがたい。計画見直しの際にはそのあたりも配慮願いたい。現場では隣の耕作者もわからないという状況がある。見直しの際は現場の状況を考えて対応いただきたい。

#### ○新規就農者確保事業について

委員：親元就農の場合も補助対象として認められるのか。

事務局：条件はあるが親元就農の方も対象となる。

#### ○環境循環型農業促進事業について

委員：茶殻を堆肥に活用する事業について、どのくらいの量の茶殻を使うと申請対象になるのか。どういう人が申請しているのか。

事務局：家庭から出る茶殻ではなく、茶の生産過程で廃棄対象となるものを肥料に混ぜて使う事業。茶農家さんと野菜農家さんが連携して事業をされている。

○ジャンボタニシ対策支援事業について

委員：説明のあった申請が4件で申請人数が50名となる理由は。

事務局：JAで購入された方の分はJAでとりまとめて申請され申請件数は1件と集計しているが、購入者数としては47名分の取りまとめとなっている。他に個人から3名の申請があり、合計で4件50名となっている。

○良質米生産強化支援事業について

委員：良質米の生産支援のため米30kgあたり500円の補助がある。去年までに比べたら今年はJAの米買取価格は上がっている。消費者は米の値段が上がって高いと言うが、生産者視点では決して高くはない。良質米支援は継続されるのか。

事務局：今日のご意見も参考に検討していきたい。

委員：ぜひ前向きに検討いただきたい。生産者は努力していても天候次第で2等米になったり3等米になったりする。そのあたりも考慮してもらいたい。

○スマート農業等導入チャレンジ事業について

委員：導入の効果について知りたい。資料にあるのは茶園での導入のケースか。

事務局：導入されたところであり実際の効果はまだ把握できていないが、データ観測ができ、カメラにもなっている。自身のスマートフォンで新芽の状態が見られ、地面に埋め込まれている部分は土壌の情報を確認できるものと聞いている。

○宇治めぐりPR委員会について

委員：出展したイベントで補助金が出ているものと出していないものがあるか。また補助額は。

事務局：記載しているイベントは全て補助対象となっている。令和6年度は全体で補助額が17万5千円。補助上限はひとつのイベントへの出展で2万円。

委員：補助額を引き上げる予定はあるか。

事務局：補助額は今年度第1回宇治めぐりPR委員会実行委員会の場合でも確認されており、変更の予定はない。

委員：以前は農林まつりを開催していたが、復活はないか。本日の会議も欠席者が多いが、宇治市の農業を盛り上げるには生産者が一同に集まって一緒に取り組むのが大切と考える。

委員：各委員忙しいとは思いますが、各団体を代表しているのだから、代表が都合が悪いなら代理出席するとか、各団体の事務局が出席するとか、そのあたり工夫してもらえたら。

事務局：農林まつりについては、当時の農林まつり実行委員会で各生産組合の代表者が話し合い、農林まつりから形を変えて、宇治あぐり PR 委員会として運営することが決まった。今、委員から集まって取り組むことに意義があるという意見が出たので、今後実行委員会の場で農林まつりの開催もひとつの案として、皆さんで議論いただければと思う。

事務局：欠席者について、欠席委員のご意見もいただくことは非常に大事である。次回から運営方法の見直しとして、ご意見をいただくために事前に照会するなどの方法も検討していきたい。

委員：個人の話ではなく、団体の代表として出席してほしい。森林組合の代表が出席されているが森林に関する補助等はないのか。

事務局：資料にはないが、国の方で森林経営管理制度があり民有林が放置されて荒れないよう、林業事業者を募集して手入れしていただく等を行っている。

委員：委員として出席されているのだから森林組合のことも発信してもらえたら。

#### ○その他

委員：宇治ではお茶はブランド化されているが、野菜、花などはどこを目指してどんなものを作っていくか。米、茶は当然作られると思うが、宇治市として他に何を作っていくのか。どの作物をつくったら利益が出るのかというのがないと就労も増えてこない。市としての指針を見せてもらいたい。

事務局：宇治市農業再生協議会では作物の補助もあるが、支援対象がまとまっていないのではというご指摘と思う。逆に、集荷されて売る立場から、専門的な目で、今、宇治では何を作っていくべきかアドバイスをいただけたらありがたい。今後どう取り組んでいけばいいか皆さんと一緒に作っていききたい。

以上